

1-6

# 道路整備による利便性の向上



## 目次

蔵数水田線交差点改良事業.....	1
道路水面占用許可及び占用料賦課徴収事務.....	3
道路新設改良事業.....	5
私道等整備事業補助金.....	7
山ノ井長浜線改良事業.....	9
富安村内竹延線改良事業.....	10
橋りょう長寿命化修繕計画策定事務（道路橋維持管理）.....	11
赤坂療養所線改良事業.....	13
狭あい道路整備等促進事業.....	14
内野東屋敷旧県道線改良事業.....	15
市道新溝山ノ井旧県道線改良事業.....	16
蔵数水田線道路改良事業.....	17
橋りょう長寿命化修繕事業.....	18

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID

事務事業名 蔵敷水田線交差点改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 <u>なし</u>	→数値 <input type="text"/>
根拠法令等 <u>道路法第16条</u>	作成日 <u>平成26年 2月12日</u>
	事業開始 <u>平成27年度</u>
	事業終了 <u>平成29年度</u>

事業開始の経緯  
 交差点における重大事故発生に伴い、地元より交差点改良事業について強い要望があり、福岡県事業において交差点改良事業が開始されたことに伴い、市道部分の交差点改良も必要なことから国の補助事業を活用し事業を実施することとなった。

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	平成25	平成26
計算式		基準値	目標値
累計整備費÷総事業費			100.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	本交差点には、信号機及び一部横断歩道の設置はされているが、交通量も多く重大事故も発生していることから、右折レーン及び歩道を設置し交差点の安全性を向上させることを目的とする。
②利害関係者	交差点沿線地権者
③成果に影響のある外部要因	交差点改良事業用地地権者の協力
④整備内容・整備期間、規模・整備総事業費など	整備期間 平成25年度から平成26年度（地権者協力や県事業の方針により期間変動が生じる） 整備概要 幅員W=11.0m 延長L=112m 整備要素 用地買収 工事 総事業費 150,000千円 整備箇所 筑後市大字蔵敷地内
⑤関連事業	県道佐賀八女線蔵敷交差点改良事業（県事業）

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 整備計画	① 計画	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 用地	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 実績	① 計画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	② 用地	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	③ 工事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID

事務事業名 蔵敷水田線交差点改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 50,000	千円 50,000	千円 50,000
国・県支出金	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 27,500	千円 27,500	千円 27,500
その他財源	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
地方債	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
一般財源	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 22,500	千円 22,500	千円 22,500
④従事者数(正規)	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00
⑤年平均給与額	千円 6,646	千円 6,646	千円 6,646	千円 6,646	千円 6,646	千円 6,646	千円 6,646
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	千円 2,544	千円 2,544	千円 2,544	千円 2,544	千円 2,544	千円 2,544
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00	人 0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0
⑩総コスト(③+⑨)	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 50,000	千円 50,000	千円 50,000
成果指標①	% 0.00	% 0.00	% 25.00	% 100.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00
②	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00
③	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00
④	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00	% 0.00

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	上位施策への貢献度 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか	コスト削減余地 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 <u>中村 隆年</u>	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 <u>蔵敷水田線交差点改良事業、蔵敷水田線交差点改良事業、蔵敷水田線交差点改良事業、蔵敷水田線交差点改良事業</u> <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費 <input type="text"/>	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	



# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 419 事務事業名 道路水面占用許可及び占用料賦課徴収事務

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課管理係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 6 道路整備による利便性の向上

上位施策のねらい  
道路ネットワークの整備と適正な維持管理で、円滑な通行ができています。

基本事業 施策の総合推進

根拠法令・要綱等	道路法・河川法・筑後市用悪水路管理条例	作成日	平成26年 2月12日
	筑後市道路・水面及びこれに附属する土地の占用条例	事業開始	平成19年度
		事業終了	平成29年度

必要度合 内部管理事務

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

--

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

占用は、個人又は法人が市民生活や経済活動の利便性向上のために市の道路・水路及びこれに附属する土地に工作物を設け、継続的にこれを使用する場合に、道路・水路等の機能を害さない限りにおいて許可される性格を持つことから、受益を受ける占有者には納付義務が伴う。占用料の滞納状況を解消するためにも、占有者が道路水面占用制度を正しく理解し、納付義務を確実に果たすことが求められる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民・観光客・観光施設・公共団体・企業	道路水面占有者	

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

占用申請の審査と占用料賦課業務  
督促状の発送  
滞納者への電話連絡・徴収  
口座振替手続きの推進

成果指標名①	単位
道路水面占用料納付率	%
計算式	道路水面占用料納付率(現年度分) = 納付済額(現年度分) / 納付予定額(現年度分) × 100
成果指標名②	単位
口座振替率	%
計算式	口座振替率(現年度分) = 口座振替件数(現年度分) / 賦課件数(現年度分) × 100 ※各年度1/現在
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
占用料賦課件数	件
活動指標名②	単位
督促状の発送件数	件
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	年度別計画							
	実績							
ア	予算額・決算額	千円						
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	その他財源	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	91	210	335	335	335	335	0
イ	従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	91	210	335	335	335	0
ク	成果指標①	%	97.44	98.90	99.50	0.00	0.00	0.00
	②	%	36.70	36.30	50.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	件	1,804.00	1,780.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	件	222.00	118.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 419 事務事業名 道路水面占用許可及び占用料賦課徴収事務

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

## 4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	基礎
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	小
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中村 隆年</span>	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____  <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善	改善案の進捗実施状況  ウ 今後の具体的な対応策、実施案 占用申請の審査と占用料賦課業務として、督促状の発送、滞納者への電話連絡・徴収、口座振替手続きの推進を行い占用料の滞納状況改善を行う。	
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>		

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 429

事務事業名 道路新設改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし 一数值

根拠法令等 道路法第16条

作成日 平成26年 2月18日

事業開始 平成19年度  
 事業終了

事業開始の経緯

車両の増加に伴い、道路幅員が狭い道路・整備されていない道路では道路利用者が安全に通行できないため。

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

基本事業 生活道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
生活道路について満足している市民割合	%		
計算式		基準値	目標値
アンケート			
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	本事業により、道路の新設・道路幅員の拡張及び歩道の設置を行うことで、道路利用者（通行車両・歩行者）にとって安全かつ通行しやすい交通体系が作られる。
②利害関係者	道路用地の地権者
③成果に影響のある外部要因	地権者の同意
④整備内容・整備期間、規模・整備総事業費など	行政区からの陳情を重要性・緊急性の高い路線から順次整備。 【整備概要】 基本計画→測量・物件調査→用地交渉→工事→供用開始 ・クリーンセンター周辺整備事業 市道欠塚新溝線改良工事 H25事業費22,560千円 他要望路線の整備
⑤関連事業	道路維持管理事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 整備計画	① 基本計画	→	→	→	→	→	→
	② 測量・物件調査	→	→	→	→	→	→
	③ 工事	→	→	→	→	→	→
	④ 供用開始	→	→	→	→	→	→
	⑤						
② 実績	① 基本計画	→	→	→	→	→	→
	② 測量・物件調査	→	→	→	→	→	→
	③ 工事	→	→	→	→	→	→
	④ 供用開始	→	→	→	→	→	→
	⑤						

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 429

事務事業名 道路新設改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円 183,336	167,392	160,655	150,000	200,000	200,000	200,000
国・県支出金	千円 0	0	0	0	0	0	0
其他財源	千円 0	0	22,560	0	0	0	0
地方債	千円 0	0	97,600	0	0	0	0
一般財源	千円 183,336	167,392	40,495	150,000	200,000	200,000	200,000
④従事者数(正規)	人 2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 13,624	13,624	13,624	13,624	13,624	13,624	13,624
⑩総コスト(③+⑨)	千円 196,960	181,016	174,279	163,624	213,624	213,624	213,624
成果指標①	% 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②	0.00	0.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化	毎年、行政区からの要望書が提出されており、道路改良事業の必要性は薄れていない。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を 道路に対する利便性の向上、道路ネットワークを構築する上で、市民の生活道路に関する整備に対する意識は高く、毎年生活道路に関する整備要望が出されているため、事業を休止すれば影響は大きい
①進捗状況は予定どおりか	あまり順調でない 上位施策への貢献度 中 順調でない場合はその理由を 近年地元要望（生活道路の整備）が多くなり、優先順位を決めて計画的に整備を行っているが、生活道路整備についての市民満足度は幹線道路満足度より低いため、狭あい事業等の補助事業を活用出来る箇所については、積極的に事業計画を行っていく必要がある。	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地がある コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を 社会資本総合交付金事業など、国の補助制度を効率的に活用し市財政負担を軽減させているが、事業採択が難しく、未整備路線について一定整備率を向上させ、生活道路の満足度指数を上げる必要がある。

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input checked="" type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案 生活道路整備についても、社会資本総合交付金事業や、狭あい道路整備等促進事業など、国の補助制度を効率的に活用し市財政負担を軽減させて道路整備を行う。
次年度の投入資源	事業費 縮小	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小	





# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 909 事務事業名 私道等整備事業補助金

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課管理係

事務区分 自治事務

根拠法令・要綱等	筑後市私道等整備事業補助金交付規程	作成日	平成26年 2月12日
		事業開始	平成20年度
		事業終了	平成29年度

必要度合 投資額や事業リスクにより民間では不可能

## 1. 事務事業の目的、指標等 類似事務事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

市道認定基準に達しない未認定道路の整備にかかる費用の一部を市が補助金として負担することで、地元主導による道路環境の整備推進を図るもの。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	道路沿線住民	道路沿線住民	

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

市道認定基準に達しない公衆用道路等（旧里道、建築基準法第42条第1項による位置指定道路等）で一定の要件を満たすものについて、地元主体で拡幅、側溝設置、舗装工事等が実施される時、地元からの申請により、予算の範囲内で一定割合（工事費用の1/2以内）の補助金を支出するもの。

## 施策体系

政策	1 安全で快適な生活を支えるまちづくり
施策	6 道路整備による利便性の向上

上位施策のねらい  
道路ネットワークの整備と適正な維持管理で、円滑な通行ができています。

基本事業 施策の総合推進

成果指標名①	単位
地元施行による道路整備総延長	m
計算式	制度発足以降の整備の延長合計
成果指標名②	単位
補助金交付申請の採択割合	%
計算式	補助金交付申請の採択件数/補助金交付申請件数
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
補助金交付申請（審査）件数	件
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
年度別計画	計画	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)
	実績	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)	補助金交付 (5割)
ア	予算額・決算額	千円	1,189	963	1,400	2,000	2,000	2,000
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		1,189	963	1,400	2,000	2,000	2,000
イ	従事者数(正規)	人	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	1,654	1,428	1,865	2,000	2,000	2,000
ク	成果指標①	m	717.50	839.00	950.00	1,100.00	1,250.00	1,400.00
	②	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	件	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	594.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 909 事務事業名 私道等整備事業補助金

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	事業実績として、平成23年度2件、実績額1,189千円、平成24年度2件、実績額963千円と過去2ヶ年は予算枠に納まっているが、市内には舗装や排水施設が未整備な私道が見受けられる。 そのため、市道との接続部にて市道の安全性が損なわれ降雨時等のスリップ事故が懸念される。また本事業が各行政区に浸透していない。 今後、各行政区に対して、本事業の啓発を促進していけば申請件数も見込まれる。
--------------------------------------	---

## 4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	市道認定がなされていない道路も市民が生活していくなかでは、一定の行政サービスは必要である。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	一定の基準は設けているが、ほとんどの申請が受理できるような体制になっているため公平性は保っている。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	要望者からの申請によるため、その年によって件数のばらつきはあると思うが、道路の整備が促進されることは、一定の有効性はある。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	市が50%補助をし舗装等道路が整備されるので、それが接続している市道等の管理が容易になり、効率的である。		

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中村 隆年</span>	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____  <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____  <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況  ウ 今後の具体的な対応策、実施案 例年要望件数は数件だが、私道は市道に接続しておりその整備により市道管理に良い影響を及ぼすことから、今後も継続していく。
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input checked="" type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>							

# 平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1075

事務事業名 山ノ井長浜線改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし →数値  
 根拠法令等 道路法第16条  
 作成日 平成26年 2月18日  
 事業開始 平成21年度  
 事業終了 平成26年度  
 必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

事業開始の経緯  
 JR羽犬塚駅へのアクセス道路、及び八女インターへのアクセス道路としての整備。また、筑後市内の東西の流動性向上等を含め近隣市町村へ交通ネットワークの充実が図られる。また、国道209号野町交差点改良事業に合わせて実施することにより、更なる利便性の向上が期待できる。

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業費換算整備累計延長	m	平成21	平成26
計算式		基準値	目標値
累計事業費÷総事業費×総延長			531.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	基準値	目標値
計算式			
累計事業費÷総事業費			
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

## 1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	JR羽犬塚駅へのアクセス道路、及び八女インターへのアクセス道路としての整備。また、筑後市内の東西の流動性向上等を含め近隣市町村へ交通ネットワークの充実が図られる。また、国道209号野町交差点改良事業に合わせて実施することにより、更なる利便性の向上が期待できる。
②利害関係者	・道路沿線住民
③成果に影響のある外部要因	道路用地地権者の理解を得られず用地交渉が難航すれば、事業が進まず本事業の成果がえられない。
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	・整備期間 平成21年度～平成26年度 ・整備概要 幅員W=9.75m 延長L=531m ・整備要素 測量調査、用地買収、工事 ・整備総事業費 208,000千円 ・整備箇所 筑後市大字野町
⑤関連事業	・国道209号野町交差点改良事業（事業主体：国）

## 2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
① 整備計画	① 測量調査	→	●	→				
	② 用地買収	→	→	→				
	③ 工事施工	→	→	→	●			
	④							
	⑤							
② 実績	① 測量調査	●						
	② 用地買収	→	→					
	③ 工事施工	→	→					
	④							
	⑤							

# 平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1075

事務事業名 山ノ井長浜線改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画				
③予算額・決算額	千円 30,335	79,792	68,045	28,500				
国・県支出金	千円 13,750	33,176	37,424	15,675				
その他財源	千円 0	0	0	0				
地方債	千円 0	0	27,000	0				
一般財源	千円 16,585	46,616	3,621	12,825				
④従事者数(正規)	人 0.07	0.07	0.07	0.07				
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646				
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544				
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 465	465	465	465				
⑩総コスト(③+⑨)	千円 30,800	80,257	68,510	28,965				
成果指標①	m 30.60	262.90	373.00	531.00				
②	% 13.00	0.00	70.00	100.00				
③	0.00	0.00	0.00	0.00				
④	0.00	0.00	0.00	0.00				

## 3. 環境変化と評価

環境変化	関連事業である国道209号野町交差点改良事業のH23.8.5地元説明会（立体交差→平面交差）及び本事業の事業説明会を実施。説明会后、測量等現場調査も行われ事業推進が図られ、それに伴う本事業においても本格的な事業推進（工事）を行った。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を筑後市の主要施設への対応及び東西の交通ネットワークの機能向上が促進されない場合、国道209号の渋滞緩和ができないなど市内の主要道路による交通体系の問題解決が出来ない。
①進捗状況は予定どおりか	順調でない 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を 関連直轄事業の遅れ及び、用地交渉（残1件）の難航。	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を 社会資本整備総合交付金制度を活用し効率的な事業推進を実施している。

## 4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休止 終期 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 測量・用地買収、測量・用地買収、測量・用地買収、測量・用地買収、測量・用地買収、測量・用地買収 <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1076

事務事業名 富安村内竹延線改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし →数値

根拠法令等 道路法第16条

作成日 平成26年 2月12日

事業開始 平成21年度  
事業終了 平成26年度

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

事業開始の経緯

平成22年度に九州新幹線が開通予定である。そのため、新船小屋駅への柳川市や大川市方面からのアクセス道路を整備することにより、県南西部の交通ネットワークの充実が図られ、新船小屋駅の利用者の増加が見込まれる。さらに筑後市南西部の活性化にも寄与する。

基本事業 幹線道路の整備促進

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	平成23年春九州新幹線筑後船小屋駅開業に伴い、柳川市や大川市方面からのアクセス道路を整備することにより県南西部の交通ネットワークの充実が図られ、九州新幹線筑後船小屋駅利用者の増加が見込まれる。さらに筑後市南西部の活性化にも寄与する。
②利害関係者	・道路沿線住民・九州新幹線筑後船小屋駅利用者
③成果に影響のある外部要因	取得用地地権者の理解が得られず用地取得が難航すると、事業促進が図れず成果が得られない。
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	・整備期間 平成21年度～平成26年度 ・整備概要 幅員W=9.75m 延長L=480m ・整備要素 測量調査、用地買収、工事 ・整備総事業費 240,000千円 ・整備箇所 筑後市大字富安（富安公民館付近から筑後市と柳川市の境まで）
⑤関連事業	柳川市道路改良事業（事業主体：柳川市）

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業費換算整備延長	m	平成21	平成26
計算式		基準値	目標値
累計事業費÷総事業費×総延長			480.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	基準値	目標値
計算式			
累計事業費÷総事業費			
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

2. 事業の進捗状況

① 整備計画	① 測量調査	→	→	●	→	→	→	→
	② 用地取得	○	○	○	○	○	○	○
	③ 工事施工	○	○	○	○	○	○	○
	④							
	⑤							
② 実績	① 測量調査	→	→	●	→	→	→	→
	② 用地取得	○	○	○	○	○	○	○
	③ 工事施工	○	○	○	○	○	○	○
	④							
	⑤							

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
--------	--------	--------	--------	--	--	--	--	--

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1076

事務事業名 富安村内竹延線改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画				
③予算額・決算額	千円 16,406	47,833	81,898	78,287				
国・県支出金	千円 9,020	21,252	44,528	41,000				
その他財源	千円 0	0	0	0				
地方債	千円 0	0	20,000	0				
一般財源	千円 7,386	26,581	17,370	37,287				
④従事者数(正規)	人 0.05	0.05	0.05	0.05				
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646				
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544				
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 332	332	332	332				
⑩総コスト(③+⑨)	千円 16,738	48,165	82,230	78,619				
成果指標①	m 54.90	161.60	355.00	480.00				
②	% 20.00	0.00	74.00	100.00				
③	0.00	0.00	0.00	0.00				
④	0.00	0.00	0.00	0.00				

3. 環境変化と評価

環境変化	九州新幹線開業効果の向上、筑後広域公園利用向上及び市施設である川の駅船小屋 恐ぼたる物産館、温泉施設の利用客増など、ますます柳川市方面からの新しい交通ネットワークの構築及び機能向上が急務となった。さらには、平成25年春の国道442号ハイパスの開通も予定されていることから、あらたな交通ネットワーク構築が必要である。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を柳川市方面から九州新幹線筑後船小屋駅への交通ネットワークを向上させるための7号道路の整備で、平成26年末の供用を目指し柳川市と協力して事業を進めているため休止できない。
①進捗状況は予定どおりか	順調である 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか	余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を社会資本整備総合交付金制度を活用し、効率的な整備を推進しているため。

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 社会資本整備総合交付金事業 <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1079 事務事業名 橋りょう長寿命化修繕計画策定事務（道路橋維持管理）

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課管理係

事務区分 自治事務

根拠法令・要綱等	道路法	作成日	平成26年 2月12日
		事業開始	平成21年度
		事業終了	平成24年度

必要度合 **市民の社会生活上、必要最小限の保障**

## 1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

橋梁維持補修事務  
道路・側溝維持補修管理業務  
道路台帳管理補正事務

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

国庫補助事業を活用し市財政負担を軽減し効率的な道路橋維持管理業務を行う。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

橋梁（135橋）を対象とした長寿命化修繕計画を業務委託により策定する。

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 6 道路整備による利便性の向上

上位施策のねらい  
道路ネットワークの整備と適正な維持管理で、円滑な通行ができています。

基本事業 生活道路の整備促進

成果指標名①	単位
計算式	
成果指標名②	単位
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

## 2. コスト、実績の推移

23年度決算 24年度決算

		計画		実績			
		23年度	24年度	23年度	24年度	25年度	26年度
年度別計画							
ア予算額・決算額	千円	8,830	7,718				
国・県支出金		0	0				
その他財源		0	0				
地方債		0	0				
一般財源		8,830	7,718				
イ従事者数(正規)	人	0.00	0.00				
ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646				
エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00				
オ年平均給与額	千円	2,544	2,544				
カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00				
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	8,830	7,718				
ク成果指標①		0.00	0.00				
②		0.00	0.00				
③		0.00	0.00				
④		0.00	0.00				
ケ活動指標①		0.00	0.00				
②		0.00	0.00				
③		0.00	0.00				
④		0.00	0.00				
コ活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0				

# 平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 1079 事務事業名 橋りょう長寿命化修繕計画策定事務（道路橋維持管理）

## 3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

## 4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	本市の管理橋梁（橋長5m以上）は135橋であり、建設後50年後経過している橋梁は9%を占めている。今後、20年後にはこの割合が48%、30年後には約70%を占め、急速に橋梁の高齢化が進む。このような状況の中、これまでの事後保全型ではコストの増大や橋梁の短命化を招くので、予防保全型の考え方で橋梁の長寿命化修繕計画の策定を行う。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	不特定多数の市民が利用する市道の橋梁であるため、公平である。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
	橋梁長寿命化修繕計画は、今までの事後保全型ではなく、予防保全型の考え方で計画をたてるため、維持管理コストの縮減が図れる。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	コスト削減余地	無
	専門業者に委託することにより、橋梁長寿命化修繕計画の専門的な有効性を検証し、効率的に業務を遂行する。		

## 5. 総合評価

ア 総合評価	課長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中村 隆年</span>	イ 前回評価後の改善内容					
事業（成果）の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 終期 <u>24年度</u> <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input type="checkbox"/> 継続 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案
<input type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更						
<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善						
<input type="checkbox"/> 成果減少							
次年度の投入資源 事業費 _____							

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1182

事務事業名 赤坂療養所線改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果	→数値	事業開始の経緯
根拠法令要綱等	道路法第16条	作成日 平成26年 2月17日
		事業開始 平成23年度
		事業終了 平成28年度
必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難		
市道赤坂療養所線は、JR西牟田駅と国道209号を接続する重要路線であり、沿線の分譲住宅地、九州大谷短期大学、井原水辺公園、付近にはJR西牟田駅、筑後北小学校、中学校等があり、それら公共施設等への交通アクセスの充実に図り、公共交通機関の交通結節機能と東西道路ネットワークを構築し筑後市北部における生活環境の充実に図るため、本事業を開始することとした。		

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
整備延長	m	平成23	平成28
計算式		基準値	目標値
整備率			618.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	基準値	目標値
計算式			
累計事業÷総事業費			
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	本路線は、JR西牟田駅や井原水辺公園を中心とした市内北部拠点から国道209号を結ぶ路線であり、道路整備事業を実施することで交通ネットワークが充実し、JR西牟田駅や井原水辺公園等へのアクセス利便性が向上することで、筑後市北部の地域活性化を図る。
②利害関係者	道路沿線住民、道路利用者
③成果に影響のある外部要因	道路用地地権者の協力 国の交付金事業制度の見直し
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	整備期間 平成23年度～平成28年度 延長L=618m、W=9.75m（2/2車線） 3種3級（設計速度50km/h） 総事業費 295百万円
⑤関連事業	JR鹿児島本線踏切拡幅事業国道209号歩道拡幅事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 整備計画	① 測量調査	○→	→	→	→	→
	② 用地取得			○→	→	→
	③ 工事施工			○→	→	→
	④					
	⑤					
② 実績	① 測量調査	○→	→	→	→	→
	② 用地取得			○→	→	→
	③ 工事施工			○→	→	→
	④					
	⑤					

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1182

事務事業名 赤坂療養所線改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画
③予算額・決算額	千円 4,900	14,655	40,645	77,000	77,000	81,091
国・県支出金	千円 0	6,600	22,253	42,350	42,350	44,000
その他財源	千円 0	0	0	0	0	0
地方債	千円 0	0	0	0	0	0
一般財源	千円 4,900	8,055	18,392	34,650	34,650	37,091
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円 4,900	14,655	40,645	77,000	77,000	81,091
成果指標①	m 0.00	41.00	164.00	311.00	0.00	0.00
②	% 0.00	7.00	27.00	50.00	0.00	0.00
③	% 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④	% 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化	近年、全国的に通学路に自動車が入り込むなどの交通事故が多発している。それに伴い、通学路の交通安全を確保するよう通達が出され早急な対応を実施する必要があり、本路線については、沿線及び近隣に学校施設がある為、さらに整備を推進することが急務となった。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を市民の利便性・安全性確保のためには早期の実施が望まれる。また、通学路の交通安全確保を行うよう国の指導もあり休止した場合は影響が大きい。
①進捗状況は予定どおりか	順調である 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか	余地はない ない場合は理由を、ある場合は内容を効率的な事業推進を行う為、社会資本整備総合交付金制度の活用を行っている。 現在検討中の道路排水計画により、コスト面で若干の増減は影響があるが、トータルコストを見据えた対応を図っていく。

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性		昨年より、東側の一部区間における道路排水計画を地元協議中であり、時地元関係者の了解が得られ次第、整備を行う。 西側区間においては、水利等の協議を行い改良工事を実施する。 地元関係者の協力が、事業進捗に大きく影響することを踏まえ、地元役員と密に連携し、地元関係者の協力を得ていく。
<input type="checkbox"/> 休廃止 終期		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
<input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 社会資本整備総合交付金事業		
<input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/>		
成果維持 <input type="checkbox"/>		
成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>		
次年度の投入資源 事業費		
総事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小		



平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1183

事務事業名 狭あい道路整備等促進事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし 一数值

根拠法令等 道路法16条

建築基準法42条

作成日 平成26年 2月12日

事業開始 平成23年度

事業終了 平成29年度

必要度合 法律で実施が義務付けられている

事業開始の経緯

狭あい道路の解消による安全な住宅市街地の形成や、建築確認・不動産取引時のトラブル防止により建築活動の円滑化を図り、道路利用者にとって安全かつ通行しやすい交通体系をつくるため。また、平成25年度まで継続される補助事業であり市財政負担を軽減させるため計画的に狭あい道路整備を行っていく。

基本事業 生活道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
狭あい道路整備等整備実施路線数	路線		
計算式		基準値	目標値
実施路線数			
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果 (整備後、供用後)	狭あい道路の解消による安全な住宅市街地の形成や、建築確認・不動産取引時のトラブル防止により建築活動の円滑化を図り、道路利用者にとって安全かつ通行しやすい交通体系をつくるため。
②利害関係者	道路用地地権者
③成果に影響のある外部要因	地権者の同意 現行制度はH25年度までとなっており、法整備や改正によるH26年度以降も継続が望まれる
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	道路幅員4m未満の道路を建築基準法における幅員4m以上の道路に整備する。
⑤関連事業	道路新設改良事業、私道等整備事業、後退道路用地整備事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 整備計画	① 基本計画	→	→	→	→	→	→
	② 測量・物件調査	→	→	→	→	→	→
	③ 工事	→	→	→	→	→	→
	④ 供用開始	→	→	→	→	→	→
	⑤	→	→	→	→	→	→
② 実績	① 基本計画	→	→	→	→	→	→
	② 測量・物件調査	→	→	→	→	→	→
	③ 工事	→	→	→	→	→	→
	④ 供用開始	→	→	→	→	→	→
	⑤	→	→	→	→	→	→

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1183

事務事業名 狭あい道路整備等促進事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円 14,190	26,794	35,864	100,000	100,000	100,000	100,000
国・県支出金	千円 7,000	13,120	14,208	50,000	50,000	50,000	50,000
その他財源	千円 0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円 0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円 7,190	13,674	21,656	50,000	50,000	50,000	50,000
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	0	0	0	0
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	0	0	0	0
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円 14,190	26,794	35,864	100,000	100,000	100,000	100,000
成果指標①	路線 3.00	2.00	3.00	5.00	0.00	0.00	0.00
②	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を 狭あい道路については、地元要望も多数あり、防災上や、道路生活環境向上には不可欠な事業である。市の財政負担も軽減できることから、休止すれば事業進捗が遅れることになり、生活道路整備の満足度指数に対する影響も大きいことから休止出来ない。
①進捗状況は予定どおりか	順調である 順調でない場合はその理由を	上位施策への貢献度	中 ③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか
			余地はない ない場合は理由を、ある場合は内容を コスト削減余地 無

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況	単年度で測量、用地交渉、工事と実施しているため地元要望路線の地権者同意の有無を整理し、事業が円滑に進むよう地元と調整を行いながら実施している。
事業(成果)の方向性		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案	生活道路整備についても、社会資本総合交付金事業や、狭あい道路整備等促進事業など、国の補助制度を効率的に活用し市財政負担を軽減させて道路整備を行う。
<input type="checkbox"/> 休廃止 終期			
<input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/>			
成果維持 <input type="checkbox"/>			
成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>			
次年度の投入資源 事業費 拡大			
総事業費 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小			



平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1224

事務事業名 内野東屋敷旧県道線改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし	→数値	事業開始の経緯
根拠法令要綱等	道路法第16条	作成日 平成26年 2月20日
		事業開始 平成25年度
		事業終了 平成29年度

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	平成25	平成28
計算式		基準値	目標値
累計事業費÷総整備事業費			100.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	八女インター南側の市道欠塚新溝線と交差する未整備路線を整備することで、市南東部からの交通ネットワークが構築され、インター接続の利便性の向上が図られる。
②利害関係者	道路沿線住民
③成果に影響のある外部要因	地元地権者の協力
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	整備期間 平成25年～平成28年度 整備概要 幅員W=12m 延長L=262m 整備要素 工事 整備事業費 100,000千円（市費4,500千円） 整備箇所 筑後市大字新溝地内
⑤関連事業	(仮)県道柳瀬筑後線改良事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 整備計画	① 測量設計		←				
	② 用地		←				
	③ 工事		○←				
	④						
	⑤						
② 実績	① 測量設計						
	② 用地						
	③ 工事						
	④						
	⑤						

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1224

事務事業名 内野東屋敷旧県道線改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円	0	25,026	31,000	31,000	17,000	0
国・県支出金	千円	0	13,750	17,050	17,050	9,350	0
その他財源	千円	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	10,100	0	0	0	0
一般財源	千円	0	1,176	13,950	13,950	7,650	0
④従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円	0	25,026	31,000	31,000	17,000	0
成果指標①	%	0.00	30.00	60.00	90.00	100.00	0.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を 筑後市東部と市主要交通を結ぶ道路ネットワークを構築できない場合、市南東部からのインター接続の利便性の向上が促進されず、南東部の発展に寄与出来ない。また、沿線には企業誘致も行っており道路整備の必要性が望まれている。
①進捗状況は予定どおりか	順調である 順調でない場合はその理由を	上位施策への貢献度	大
		③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか	余地はない ない場合は理由を、ある場合は内容を 社会資本整備総合交付金制度を活用し効率的な事業推進を実施している。

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況	
事業(成果)の方向性		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案	
<input type="checkbox"/> 休廃止 終期			
<input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業	社会資本整備総合交付金事業		
<input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/>			
成果維持 <input type="checkbox"/>			
成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>			
次年度の投入資源	事業費		
総事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小			

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1225

事務事業名 市道新溝山ノ井旧県道線改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果 なし →数値

根拠法令等 道路法第16条

作成日 平成26年 2月12日

事業開始 平成25年度  
事業終了 平成29年度

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

事業開始の経緯

本路線は、旧県道柳瀬築後線の一部であり、国道442号バイパスの開通によって、平成25年度に市に移管された。市南東部と中心部を結ぶ重要な幹線道路であるため、市事業として事業推進を引き続き行うもの。

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	平成25	平成29
計算式		基準値	目標値
累計事業費÷総事業費			100.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	本路線は、市内南東部と中心部を結ぶ幹線道路であり、道路整備事業を実施することで、国道209号や国道442号旧道及び山ノ井長浜線などを含めた広域的な交通ネットワークが充実し、利便性が向上することで地域の活性化を図る。
②利害関係者	道路沿線住民
③成果に影響のある外部要因	・道路用地地権者の協力
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	・整備期間 平成25年～平成29年 ・整備概要 幅員W=11m 延長L=850m ・整備要素 用地買収 工事 ・総事業費 600,000千円 ・整備箇所 筑後市大字長浜・新溝地内
⑤関連事業	市道山ノ井長浜線改良事業(仮)旧県道八女瀬高線改良事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 整備計画	① 計画		→				
	② 用地		○				
	③ 工事						
	④						
	⑤						
② 実績	① 計画		→				
	② 用地		○				
	③ 工事						
	④						
	⑤						

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1225

事務事業名 市道新溝山ノ井旧県道線改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円	0	25,056	125,000	125,000	125,000	200,000
国・県支出金	千円	0	13,750	68,750	68,750	68,750	110,000
その他財源	千円	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	10,100	0	0	0	0
一般財源	千円	0	1,206	56,250	56,250	56,250	90,000
④従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円	0	25,056	125,000	125,000	125,000	200,000
成果指標①	%	0.00	4.00	33.00	50.00	67.00	100.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	順調である 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 社会資本整備総合交付金事業 <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1227

事務事業名 蔵数水田線道路改良事業

部 建設経済部

担当部署 道路・水路課道路係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり  
 施策 6 道路整備による利便性の向上

費用便益結果	なし	→数値	
根拠法令要綱等	道路法第16条	作成日	平成26年 2月12日
		事業開始	平成23年度
		事業終了	平成29年度

必要度合 受益者の特定が困難で、費用回収が困難

事業開始の経緯  
 若菜北原高江南平線が熊野水田線から国道442号バイパス間が平成23年度に完成し国道442号バイパス開通により非常に交通量も多くなっており、通勤通学の通行の際、大変危険が伴う道路になっているため歩道の設置が必要な道路で、道路の老朽化も進んでいます。また、歩道が狭く、羽塚駅西側や市立病院へのアクセス道路としての機能もあるため、公共交通ネットワークの機能向上が図られるため整備の必要がある。

基本事業 幹線道路の整備促進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
事業進捗率	%	平成25	平成29
計算式		基準値	目標値
累計事業費÷総事業費			100.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	本路線は、市南部と北部を結ぶ幹線道路であり、国道442号バイパスから市道若菜高江線までの区間の道路整備事業を実施することで、歩道が充実し、利便性が向上することで地域の活性化を図る。
②利害関係者	道路沿線住民
③成果に影響のある外部要因	道路用地地権者の協力
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	整備期間 平成23年度から平成29年度 整備概要 幅員W=9.75m 延長L=550m 整備要素 測量設計、用地買収 工事 総事業費 383,000千円 整備箇所 筑後市大字久富地内
⑤関連事業	市道蔵数水田線交差点改良事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①整備計画	① 測量・計画	○→	→	●			
	② 用地				○→	→	
	③ 工事					○→	→
	④						
	⑤						
②実績	① 測量・計画	○→	→				
	② 用地						
	③ 工事						
	④						
	⑤						

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 1227

事務事業名 蔵数水田線道路改良事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
③予算額・決算額	千円	2,600	0	20,000	90,000	90,000	90,000
国・県支出金	千円	0	0	11,000	49,500	49,500	49,500
その他財源	千円	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	2,600	0	9,000	40,500	40,500	44,050
④従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円	2,600	0	20,000	90,000	90,000	97,400
成果指標①	%	0.00	0.00	5.00	29.00	53.00	76.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	順調である 順調でない場合はその理由を	上位施策への貢献度	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか
			余地はない ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 中村 隆年	イ. 前回評価後の改善進捗状況	
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 <b>社会資本整備総合交付金事業</b> <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案	
次年度の投入資源	事業費		
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小		

